



法然上人、慈覚大師の
九条袈裟をかけ
往生される

香林



こうりん
香林山 無量寺
機関紙 第12号
発行者 堤 俊海
香林編集委員会
久留米市本町 8-4
TEL0942-32-3010
FAX0942-32-2701

法然上人のおことば(御法語より)

第十九(乗佛本願)

他力本願ニ乗ズルニニツアリ、乗ゼザルニニツアリ。乗ゼザルニニツトイウハ、一ツニハ罪ヲツクルトキ乗ゼズ。ソノ故ハカクノゴトク、罪ヲツクレバ、念仏申ストモ、往生不定ナリト思ウ時ニ乗ゼズ。ニツニハ道心ノオコル時、乗ゼズ。其ノ故ハ、オナジク念仏申ストモ、カクノゴトク道心アリテ、申サンズル念仏ニテコソ、往生ハセンズレ。無道心ニテハ、念仏ストモ、カナウベカラズト、道心ヲサキトシテ、本願ヲ次ニ、思ウ時乗ゼザルナリ。次ニ本願ニ乗ズルニ、ニツノ様トイウハ、一

法然上人 廿五霊場巡拝

「白河の禪房」と称していた。建久九年(一一九八)四月八日、弟子信空への書状に「白河の本坊、坂下の園一所」と記され、また師滅後の七七日法要に際して信空の諷誦文に「北嶺黒谷の草庵に宿せしより、東都白河の禪房に移りしに至るまで」とある。更に黒谷の名称は、比叡山黒谷の所領で、師叡空の滅後に法然上人が譲り受け、ついで弟子の信空・湛空と相続せられた。

黒谷さん
東山三十六峰の一・紫雲山にあり、一般に「黒谷さん」と親しんでいる。
承安五年(一一七五)の春法然上人四十三歳のとき、他力本願の御法を勧めるため、叡山黒谷の報恩蔵を出て、真如堂に詣でて当山の山上に休息。念佛されるとき紫雲たなびき光明輝く瑞相を感じ得られて、

浄土宗大本山 第24番
こんかいこうみょうじ
京都 金戒光明寺
京都市左京区黒谷町 121
(開基)法然上人
(本尊)阿弥陀如来
(御詠歌)池の水人の心に似たりけり濁り澄むこと定めなければ



有縁の地なり」として草庵を結ばれた浄土門発祥の道場である。山号を紫雲山という。
その昔、この辺りは北白河の里で「白河の禪房」と称していた。建久九年(一一九八)四月八日、弟子信空への書状に「白河の本坊、坂下の園一所」と記され、また師滅後の七七日法要に際して信空の諷誦文に「北嶺黒谷の草庵に宿せしより、東都白河の禪房に移りしに至るまで」とある。

円頓戒とは、出家・在家に通じる戒。一度受けると止悪修善の原動力となり、永久に失われないという。円頓とは、いま持ち合わせている心にすべての物事が円満に具足し、忽ち悟つて成仏することの意。寺号に冠した「金戒」の二字は、円頓戒に由来する。それは、黒谷が円頓戒の総本山を標榜していた頃、八世運空上人は学徳に勝れ、後光厳天皇に円頓戒を授けられた。帝は感激のあまり円頓戒の別名金剛宝戒より「金戒」の二字を下賜された。これより金戒光明寺と号するようになった。

伽藍の変遷

第五世円智上人の代に初めて佛殿御影堂を建立した。戦国時代に二十

その後この禪房を「新黒谷」と呼んでいたが、歳月の流れに単に黒谷と称するようになった。金戒光明寺を「黒谷さん」と呼ぶ所以である。
信空上人は一乗円頓戒の正統を嗣ぐ僧である。伝教大師によつて大成したこの戒は、第九代慈眼坊叡空により法然上人に相伝されると叡山を離れて洛中の信空・湛空・惠尋へと伝承した。
円頓戒とは、出家・在家に通じる戒。一度受けると止悪修善の原動力となり、永久に失われないという。円頓とは、いま持ち合わせている心にすべての物事が円満に具足し、忽ち悟つて成仏することの意。寺号に冠した「金戒」の二字は、円頓戒に由来する。それは、黒谷が円頓戒の総本山を標榜していた頃、八世運空上人は学徳に勝れ、後光厳天皇に円頓戒を授けられた。帝は感激のあまり円頓戒の別名金剛宝戒より「金戒」の二字を下賜された。これより金戒光明寺と号するようになった。

一枚起請文

一世法山上人が織田・豊臣の庇護を受けた。慶長十年(一六一六)秀頼は阿弥陀堂を再建した。同十七年、御影堂、方丈、庫裏などを焼失。その後徳川家康の命により、安芸国瀬戸田の光明三昧院が護持する上人七十五歳の御影を遷座して現在に至るという。昭和九年に大殿より出火、大方丈、寺務所等を焼失、昭和十九年に方七間の御影堂を藩慶し、寺観の整備に努めた。



観経曼陀羅について

天平勝宝七年(七六三)に大和の当麻寺に出現した国宝綴織当麻曼陀羅を根本とする。『観無量寿経(観経といふ)』等によって絵相を織った曼陀羅である。観経曼陀羅とか浄土曼陀羅と称している。約四三四方の軸物で根本、文亀、貞享の各曼陀羅が現在、当麻寺に所蔵されている。これを転写した大小種々の曼陀羅が各地に多く所有される。

曼陀羅と呼ぶが、変、变相とも言い御経や説話を絵図化したものことである。曼陀羅という語は梵語(mandala)の音写であり、聚集、発生、輪円具足と訳される。聚集とは、阿彌陀浄土の仏と菩薩と国土の莊嚴を悉く織り集い合つのでいう。発生とは、観経曼陀羅を拝見する人は、心の置きどころである安心の種子や修すべき行為の起行の芽茎、菩提の果実が生じることからいう。また、輪円具足とは、三方の縁が観経によ

る娑婆世界の相を出し、中台では極楽世界の阿彌陀仏と仏国土の二報の莊嚴を示し、諸もろの

高祖善導大師は浄土変を三百鋪作られ布教教化に用いられた。中国の敦煌の莫高窟には観経曼



浄土曼陀羅(観経曼陀羅)知恩院蔵

法門の功德を備えているからである。

陀羅の原型とも考えられる唐時代の観経変がある。变相の構成

は、三方の縁に観経の説相を織り、右縁には(仏から見ていう)説法が行われる直接の原因を述べる化前序がある。阿闍世太子が父王を殺して王位を奪い、更に国母韋提希夫人まで幽閉する悪逆を犯す。そこで夫人がこの娑婆世界(穢土)を嫌って極楽浄土に往生することを願い、釈尊に教えをお聞きする。下から上へと進み、禁父縁、禁母縁、厭苦縁、欣浄縁、化前序の五縁を十一段に分けて織ってある。左縁には釈尊の教えの定善義の十三観が上から下へと進み、日想観に始まり雑想観となる。また下縁には左から右へと進み、上品上生より下品下生の三輩九品を織ってある。中央の極楽浄土(内陣とも中台ともいふ)は舞楽会、父子相迎会、樹下会、三尊会、宝池会、楼閣会、虚空会となる。さらに全体を三分した三色段と下縁に織付縁起文がある。变相のなか古に具象的表現や員数に微妙の異なりがあっても転写のときの指導の僧や画工による違いで基本的には変わりはない。

仏事のQ&A

浄土宗なんでも相談室

Q お寺さまからお施餓鬼の案内が来しました。お施餓鬼とはどのような行事なのでしょう。お施餓鬼の意味やいわれ、またわたしたちの心得を教えてください。

A お施餓鬼のいわれには、お釈迦さまの十大弟子のひとりである阿難のこんなエピソードがあります。多聞第一の高弟といっても、阿難もまた、わたしたちと同じく悩み多き人生を送ったひとりでした。ある日、一生懸命修行している、夢うつつの間に恐ろしい姿の餓鬼が現われて、お前はあと三日以内に死ぬよ、といいました。だれでもいつかは死ぬとは決まっていますが、お前はもうすぐ死ぬよといわれて、はい、そうですか、と落ちていられるものではない。

やまだ若々しく、皆から阿難さん、阿難さんと親しまれている心優しい阿難が平気でいられるはずがありません。すっかりおびえてしまった阿難は「助けてください」と、お釈迦さまにお願いをしました。お釈迦さまが、そのすがりつかんばかりの願いをきいて、教えられたのは、特效薬の注射でも点滴でもなく、「施し」の法だったので。大勢の飢えた人々、その代表があつた阿難さん、その代表があつた阿難さん、お釈迦さまはそういう人々への大施食会を催して供養しなさい、と教えられたのです。

に生まれかわるのだ、といわれた阿難は、再び現われた餓鬼の感謝の言葉を転機として死の悩みを離れることができました。この方法を今日まで伝えて来たのがお施餓鬼です。だれでも死にたくはありません。長生きがしたいのです。その悩みを正直に悩み恐れのが阿難です。その悩み恐れを脱却した阿難は、長寿を保つた上、さらに後世まで光り輝くような立派

な最期を迎えています。生命を保てるのは、他のものの生命をいただいているからです。このことを考えたら、ほんとうの寿命がお施餓鬼によつて果たされる道理がすぐお分かりだと思えます。物は余っていても、まごころの施しは決して有り余っているわけではありません。阿難と同類のわたしたちは、今こそお施餓鬼に励むべき時ではないでしょうか。

よい子の集い 参加者募集

小学生を対象とした1泊2日の修養会です。浄土宗寺院の若い和尚さんが指導します。

日時 平成10年7月23~24日
集合 7月23日午後2時 解散 24日午後3時
場所 専念寺(久留米市草野町)47-0029
主催 筑後浄土宗青年会

参加資格 小学生男女(定員80名)

持参品 鉛筆、夏休みの友、ノート、洗面具、雑巾、水着(ぞうり)、薬、バスタオル、タオルケット、パジャマ等

会費 3,000円

内容 おつとめ、ともしびの集い、花火、きもだめし、山登り、川遊び、ラジオ体操等

申し込み締め切り 7月10日
無量寺に申込書があります。